令和6年7月から重度心身障害者医療費助成制度が一部変わります！

重度心身障害者医療費助成制度とは？

重度の障害がある方の健康の保持や増進、経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担額（病院などでの窓口支払額）を県と市で助成する制度です。

令和6年7月診療分から、市へ申請の必要がなくなる自動償還払い方式に移行するなどの新制度を開始します。

制度の主な変更点は3つです

	現行制度	制度変更後
対象者	・身体障害者手帳1級、2級所持者 ・療育手帳A1、A2、A、B1（知能指数35以下） ・身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1（知能指数50以下）	・身体障害者手帳1級、2級所持者 ・療育手帳A1、A2、A、B1（知能指数35以下） ・身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1（知能指数50以下） ・**精神障害者保健福祉手帳1級所持者（通院医療費）** ※上記のうち一定の所得以下の方
助成方法	［償還払い］ 窓口でいったん自己負担額を負担した後、市へ交付申請を行い、市から受給者に支給	**［自動償還払い］** **窓口でいったん自己負担額を負担した後、市から受給者に支給** **（病院などの窓口でいったん自己負担額を負担した後、病院などが審査集計機関を通じて市へデータを送付し、そのデータを基に市から受給者へ支給）**
所得制限	なし	**特別障害者手当の所得制限を準用** ※所得制限限度額表参照

注意事項

①自動償還払い方式への移行であり、**窓口無料化ではありません。**窓口で自己負担額の支払いが必要です。

※医療機関などへの申請書の回収は令和6年9月で終了となりますので、令和6年6月受診以前の申請は早めにお願いします。申請漏れがあった場合、10月以降は直接障害福祉課へ提出していただく必要がありますので、ご注意ください。

②令和6年7月診療分より一定の所得がある方は、対象外となります。

例1
生計中心者が受給資格者本人で、扶養親族などがいない場合
収入額の目安＝518万円

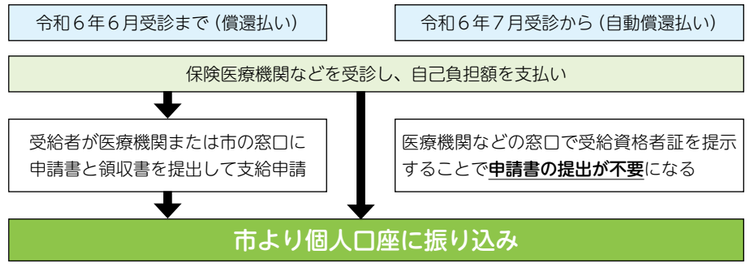
例2
生計中心者が配偶者で、扶養親族などが2人の場合
収入額の目安＝879万9千円

③自動償還払い方式による助成を受けるためには、医療機関などの**窓口で受給資格者証を提示する**必要があります。

④以下の場合は障害福祉課への支給申請が必要になります。

▼保険医療機関などで受給資格者証の提示がない場合（月1回の提示で可）

▼県外の保険医療機関などを受診した場合



▲医療費制度について

所得制限の導入に伴い、受給資格者証が毎年更新されます。令和6年度は対象者に2回発送します。詳しくは、障害福祉課へお問い合わせください。

薩摩川内市重度心身障害者
医療費助成受給資格者証
市町村番号　事業番号　3
受給者番号
対象者 氏名　性別
生年月日
住所
保護者 氏名
住所
記号　番号
医療保険 被保険者氏名
保険者名
発行機関名
有効期間 令和　年　月1日から
令和　年　月　日まで
備考 通院のみ
○年○月○日交付
●●市長

▲受給資格者証（見本）

扶養親族などの数	生計中心者が受給資格者の場合 所得額（収入の目安額）	生計中心者が配偶者および扶養義務者の場合 所得額（収入の目安額）
0	360万4千円（518万円）	628万7千円（831万9千円）
1	398万4千円（565万6千円）	653万6千円（858万6千円）
2	436万4千円（613万2千円）	674万9千円（879万9千円）
3	474万4千円（660万4千円）	696万2千円（901万2千円）

▲所得制限限度額表

問合先／本庁障害福祉課支援G（内線2163、2172）

深ボリ！企業のチカラ

第66回 九州樹脂工業株式会社

今回は、九州樹脂工業株式会社を「深ボリ！」。営業課長の富田守さんにお話を伺いました。

▲富田営業課長（右から2番目）と社員の皆さん

事業の概要

プラスチックの加工および輸出販売を行う（株）中天貿易として、平成24年に創業しました。その後、世界的なプラスチックの輸出入規制を契機に、より一層プラスチックの再資源化に取り組むため、令和元年に九州樹脂工業（株）を設立し、再生プラスチックの製造、販売、その材料となる樹脂全般の受け入れを行っています。

高度なリサイクル技術

当社は、ビニール袋類の軟質プラスチックを破砕・洗浄し、ペレットという小さな粒状に加工する高度な技術や設備を有しています。このペレットを、プラスチック製品を製造するメーカーなどに販売し、廃プラスチックの再資源化に貢献しています。

①素材の廃プラスチックを機械に投入

②再生プラスチックをペレット状に加工

③ペレット状になった再生プラスチック

今後の抱負

事業者からは廃プラスチックの持ち込みも受け入れています。しかし、持ち込まれたものの中には再資源化することが難しいものもあるため、古紙などを混ぜて固形化し燃料として再利用する仕組みを計画しています。この燃料は、廃棄物固形燃料（RPF）といい、石炭と比較して熱効率が高く、二酸化炭素の排出量が少ない、環境に優しい燃料で、工業用の燃料としての利用が進んでいます。

このように家庭ごみや事業ごみが再び資源として再生していること、そして、その資源化を行う企業が地元にあることを知っていただくために、学校を訪問し、企業説明などを行っています。弊社の事業に興味を持っていただくことによって雇用につなげていくことを目指すとともに、今後もSDGsを推進する企業として努めていきます。

社員からのメッセージ

入社4年目
宮脇健さん

私はペレットを作り出す機械の操作を担当しています。持ち込まれるプラスチックにはさまざまな種類が混在しているので、一定の品質でペレットを作り出すためには機械の設定を調整する必要があります。その調整が難しい作業である一方、やりがいを感じています。

まだまだ成長して自分のできる仕事の幅を広げていきたいです。

九州樹脂工業株式会社

－ Information －

代表者：代表取締役社長　王尚（おうしょう）
所在地：久見崎町965-2
従業員数：24人
連絡先：099(294)9702

ホームページ▶